

Ⅰ学期の漢字

たしかめ Ⅰ

1	読	図書室で本を読む。
2	雪	大雪になって除雪が大変だ。
3	声	声を出さずに目で読む。
4	言	言いたいことを発言した。
5	行	夏休み、家族で旅行に行った。

たしかめ Ⅱ

6	南	南極は、南の端にある。
7	図	図書室で昆虫図鑑を読む。
8	書	書写の時間、ていねいな字で書く。
9	方	いい方法や上手なやり方。
10	絵	夏休みの思い出を絵日記に書く。

たしかめ Ⅲ

11	知	クッキーの作り方を知る。
12	春	春の初めを早春という。
13	思	思いやりの心が大切だ。
14	記	日記帳に名前を記す。
15	曜	日曜日は家でゆっくり休もう。

たしかめ Ⅳ

16	肉	牛肉のステーキを食べた。
17	話	おばあちゃんと電話で話をした。
18	聞	ラジオで聞いたことを新聞で読む。
19	黄	春、黄色い花といえばタンポポ。
20	色	赤、白、黄の三色で、どの色が好き？

たしかめ 1

1	図書室 <small>としよしつ</small> でほんをよむ。
2	おおゆきになつて除せつ <small>じよ</small> がたい変だ <small>へん</small> 。
3	こえをださずにめでよむ。
4	いいたいことを発げん <small>はつ</small> した。
5	夏やすみ、家族 <small>かぞく</small> で旅 <small>りよ</small> こうにいった。

たしかめ 2

6	なん極 <small>きよく</small> は、みなみの端 <small>はし</small> にある。
7	と書室 <small>しよしつ</small> で昆ちゆうず鑑 <small>かん</small> をよむ。
8	しよ写 <small>しや</small> の時間 <small>じかん</small> 、ていねいなじでかく。
9	いいほう法 <small>ほう</small> やじようずなやりかた。
10	夏やすみの思いで <small>おも</small> をえにつ記 <small>き</small> にかく。

たしかめ 3

11	クツキーの作りかた <small>つく</small> をしる。
12	はるの初め <small>はじ</small> をそうしゆんという。
13	おもいやりの心 <small>こころ</small> がたい切だ <small>せつ</small> 。
14	につき帳 <small>ちよう</small> にな前 <small>まえ</small> をしるす。
15	にちようびは家 <small>いえ</small> でゆつくりやすもう。

たしかめ 4

16	牛 <small>ぎゆう</small> にくのステーキを食 <small>た</small> べた。
17	おばあちゃんと電 <small>でん</small> わではなしをした。
18	ラジオできいたことを新 <small>しん</small> ぶんでよむ。
19	はる、きいろいはなといえはタンポポ。
20	あか、しろ、きのさんしよくで、どのいろが好 <small>す</small> き？

たしかめ 5

25	24	23	22	21
風	高	毛	太	黒
風速五十メートルの強い風。	背が高い高校生のお姉さん。	赤い毛糸の手袋。	太い丸太を斧で割る。	黒くないけれど黒板という。

たしかめ 6

30	29	28	27	26
形	考	新	多	晴
三角形は、とがった形。	いい考えを思いついた。	新学期、新しいクラスになった。	多数決で多い方に決める。	快晴とは、雲一つ無く晴れる日。

たしかめ 7

35	34	33	32	31
今	同	近	長	体
今はだめ。今度晴れたらやろう。	同じクラスの同級生。	近づいてワッとおどかす近所の子。	校長先生のお話は長い。	体育は、体を育てる時間です。

たしかめ 8

40	39	38	37	36
内	切	刀	社	会
黄色い線の内側で電車を待つ。	のこぎりで木を切り二つに切断する。	二本の刀を使う二刀流。	朝早く、会社に出かけるお父さん。	外国の人に出会って会話した。

たしかめ 5

25	24	23	22	21
ふう速 <small>そく</small> ごじゅうメートルの 強い <small>つよ</small> かげ。	背 <small>せ</small> が たかい こうこうせいのお姉さん <small>ねえ</small> 。	あかい けいと のて袋 <small>ふくろ</small> 。	ふとい 丸 <small>まる</small> たを 斧 <small>おの</small> で 割 <small>わ</small> る。	くろくないけれど こく板 <small>ばん</small> という。

たしかめ 6

30	29	28	27	26
さん角 <small>かく</small> けいは、とがった かたち。	いい かんがえを おもいついた。	しんがっ期 <small>き</small> 、あたらしい クラスになった。	た数決 <small>すうけつ</small> で おおい ほうに 決 <small>き</small> める。	快 <small>かい</small> せいとは、雲 <small>くも</small> ひとつ 無 <small>な</small> くはれる ひ。

たしかめ 7

35	34	33	32	31
いまは だめ。こん度 <small>ど</small> はれたら やろう。	おなじ クラスの どう級 <small>きゅう</small> せい。	ちがづいて ワツと おどかす きん所 <small>じょ</small> のこ。	こうちようせんせいのおはなしは ながい。	たい育 <small>いく</small> は、からだを 育 <small>そだ</small> てる 時間 <small>じかん</small> です。

たしかめ 8

40	39	38	37	36
きいろい 線 <small>せん</small> の うち側 <small>がわ</small> で 電 <small>でん</small> しゃを 待 <small>ま</small> つ。	のこぎりで きを きり ふたつに せつ断 <small>だん</small> する。	にほんの かたなを 使 <small>つか</small> う にとう流 <small>りゅう</small> 。	朝 <small>あさ</small> はやく、かいしゃに でかける お父さん <small>とう</small> 。	外国 <small>がいこく</small> の ひとに であって かいわした。

たしかめ 9

45	44	43	42	41
汽	線	妹	姉	店
汽車、 汽車、 シユツポツポ。	運動場 ^{うんどう} に白線 ^{しやうせん} を引く。	三姉妹、一番下の妹は甘えんぼ ^{あま} 。	妹は姉を「姉ちゃん」と呼ぶ ^よ 。	お店が並ぶ ^{なら} 商店街 ^{しょうたいがい} 。

たしかめ 10

50	49	48	47	46
元	前	広	魚	海
元どおりに復元 ^{ふく} された。	前進 ^{しん} とは、前に進む ^{すす} こと。	青空が広がる広大な空。	水 ^{みづ} そうで泳ぐ ^{およ} 魚は金魚 ^{きんぎょ} です。	深い海 ^{ふかい} の底 ^{そこ} にいる深海魚 ^{しんかいぎょ} 。

たしかめ 11

55	54	53	52	51
家	光	教	食	岩
家族 ^{ぞく} みんなで、家の中の大掃除 ^{おそうじ} 。	月の光 ^{つきのみつ} を月光 ^{げつこう} という。	教室 ^{けうしつ} で勉強 ^{べんけん} を教える先生 ^{せんせい} 。	夕食 ^{ゆしき} は、みんなで食 ^た べると楽 ^{たの} しいね。	岩山 ^{いわやま} の岩石 ^{がんせき} が道 ^{みち} をふさぐ。

たしかめ 12

60	59	58	57	56
丸	数	後	組	池
丸い玉 ^{たま} を投 ^な げる砲丸 ^{ほうがん} 投 ^な げ。	みんなの人数 ^{にんずう} を数 ^{かず} えよう。	一番後 ^{いちばんご} ろは、最後 ^{さいご} です。	運動会 ^{うんどうかい} の赤組 ^{せくぐみ} と白組 ^{はくぐみ} 。	水 ^{みづ} をためる池 ^{いけ} を貯水池 ^{ちよすい} という。

たしかめ 9

45	44	43	42	41
きしや、きしや、シュツポツポ。	運動場にはくせんを引く。	さんしまい、いち番したのいもうとは甘えんぼ。	いもうとはあねを「ねえちゃん」と呼ぶ。	おみせが並ぶ商てん街。

たしかめ

10

50	49	48	47	46
もとどおりに復げんされた。	ぜん進とは、まえに進むこと。	あおぞらがひろがるこうだいなそら。	すいそうで泳ぐさかなはきんぎよです。	深いうみの底にいる深かいぎよ。

たしかめ

11

55	54	53	52	51
か族みんなで、いえのなかのおお掃除。	つきのひかりをげっこうという。	きよう室で勉強をおしえるせんせい。	ゆうしよくは、みんなでたべると楽しいね。	いわやまのがんせきが道をふさぐ。

たしかめ

12

60	59	58	57	56
まるいたまを投げる砲がん投げ。	みんなのにんずうをかぞえよう。	いち番うしろは、最ごです。	運動かいのあかぐみとしろぐみ。	みずをためるいけを貯すいちという。

65	64	63	62	61
雲	羽	引	買	点
積乱雲 <small>せきらん</small> を入道雲と呼 <small>よ</small> んでいる。	一羽の鳥が、羽を広げて飛 <small>と</small> んでいく。	強引に引 <small>ひ</small> つ張 <small>ば</small> ったら、切れた。	売り買 <small>か</small> いすることを売買という。	うれしいな、漢字 <small>かん</small> のテストが百点だ。

70	69	68	67	66
万	通	園	公	夏
この市の人口は約五万人。	右側 <small>がわ</small> を通 <small>か</small> って通 <small>か</small> う通学路 <small>ろ</small> 。	保育園 <small>ほいく</small> の園長先生。	公園で友達 <small>だち</small> と遊 <small>あそ</small> んだ。	夏の初め <small>はじ</small> を初夏 <small>しよ</small> という。

74	73	72	71
歌	鳥	来	頭
歌の歌詞 <small>し</small> を覚 <small>おぼ</small> えて歌う。	木の上で小鳥がさえずる。	来年 <small>かなら</small> も必ず来 <small>こ</small> てね、ツバメさん。	先頭 <small>だち</small> に立 <small>た</small> つ友達 <small>だち</small> の頭が見えた。

たしかめ

13

65	64	63	62	61
積乱 <small>せきらん</small> うんを にゆう道 <small>どう</small> ぐもと 呼 <small>よ</small> んでいる。	いちわの鳥 <small>とり</small> が、はねをひろげて 飛 <small>と</small> んでいく。	強 <small>ごう</small> いんに ひつ張 <small>ば</small> ったら、きれた。	売 <small>う</small> りかいする ことを 売 <small>ばい</small> ばいという。	うれしいな、漢 <small>かん</small> じの テストが ひやくてんだ。

たしかめ

14

70	69	68	67	66
この市 <small>し</small> の じんこうは 約 <small>やく</small> ごまんにん。	みぎ側 <small>がわ</small> を とおって かよう つうがく路 <small>ろ</small> 。	保育 <small>ほいく</small> えんの えんちようせんせい。	こうえんで 友達 <small>ともだち</small> と 遊 <small>あそ</small> んだ。	なつ <small>はじ</small> の 初めを 初 <small>しよ</small> かという。

たしかめ

15

74	73	72	71
うたの か詞 <small>し</small> を 覚 <small>おぼ</small> えて うたう。	きの うえで ことりが さえずる。	らいねんも 必 <small>かなら</small> ず きてね、ツバメさん。	せんとうに たつ 友達 <small>ともだち</small> の あたまが みえた。